



あもり愛あもい

あもり
あもい

明るく萌える 理想の安茂里

安茂里地区住民自治協議会広報誌

発行 安茂里地区住民自治協議会広報委員会
事務局 長野市大字安茂里1777番地1
TEL 026-266-0527
TEL・FAX 026-266-0597
ホームページ <http://www.amori.jp>

新年

明けましておめでとうございます

「笑顔で心豊かに暮らせる町」

安茂里地区住民自治協議会 会長 小山 孝雄



安茂里地区の皆様には、穏やかな新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

日頃は、住民自治協議会に対して、ご支援とご協力を頂き感謝申し上げます。

昨年は、元旦より能登地震があり、また豪雨というような大きな災害に見舞われる年でありました。安茂里地区は大きな災害もなく無事過ごすことができました。

昨年は、6月に安茂里地区全体で初めての防災訓練が防災部会の企画により、総勢197名の参加で、盛大かつ迅速な訓練が行われました。訓練を通してご近所の防災力、隣保共同の精神に基づき住民相互による効果的な防災対応及び地域防災への理解、予防啓発活動、自助・共助の重要性が学べればと思います。

準備の段取りには、安茂里支所、危機管理防災課、消防安茂里分署、西部保健センター、安茂里公民館、安茂里交番、消防団、防災指導員の皆様方のご協力を頂きました。

そして住自協の、三大イベントとして行われました、安茂里の「スポーツの祭典」「アモーレフェスタ」「福祉バザー」等は皆さんのご協力のもと、盛大に無事実施出来ました事に対しまして、深く感謝申し上げます。新型コロナの5類以降後、イベントに参加される方々も徐々に増え、とても賑やかな祭典となっております。

安茂里地区まちづくり計画も、第3期として令和3



年～7年まで「安茂里地区地域福祉計画」を包括するものとして、各部会が計画を推進、実行中です。

気候変動のなか、いままで想像できなかったことが起きています。安茂里地区には、犀川、榎花川に挟まれ、16もの沢筋があり想定外の降雨時は「土砂災害」と「水害」の心配と不安が付きまといまいます。

安茂里住自協としても毎年、長野県や長野市と共にパトロールを行い危険箇所の確認と工事等の対処依頼を行ない、実現の運びとなっております。

自分たちの命はその地域の「支え合い」で守ることを準備しておくことが必要で、そのやり方は、その地域の実情に合った方法を探し出すこととなります。

昨年6月には生活支援実務体制整備事業の会議を開催し、「住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい」そんな願いを実現するためには、世代を超えて、支え合えるご近所関係づくりが重要となります。

雪かき、ゴミ出し、買い物等、いろいろな場面で支援を必要とする生活弱者を見守る、一歩踏み込んだ生活支援の協力、声掛け見守り活動、高齢者を孤立化させない、地域での助け合い事業を実施することが、災害時の要支援者の支援にもつながると思います。各部会、民生児童委員の皆様、包括センターの方々にもご協力を頂き会議を進めています。

「笑顔で心豊かに暮らせるまち」作りを進めることが、「災害に強い街」に直結するものと確信しています。

住民の皆様のご強力なご支援とご協力をお願いするとともに、地区皆様方の、益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

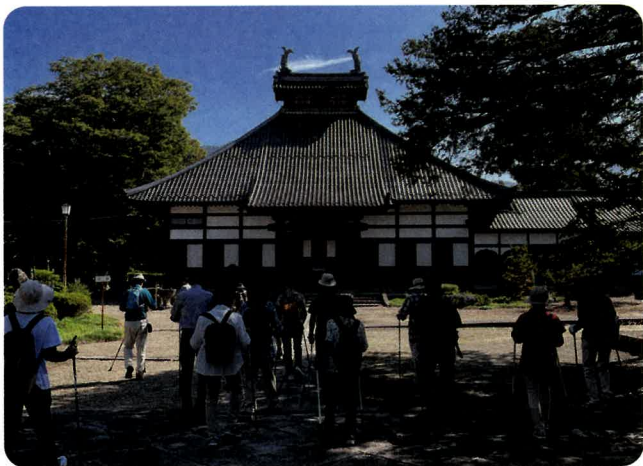
令和6年
10月上旬から11月中旬までの
主な行事紹介。



10月2日(水)

健康福祉部会 ノルディックウォーキング講習会

10月2日にノルディックウォーキング講習会が開催されました。参加者17名で、松代町を3.5km歩きました。当日はお天気にも恵まれ、長国寺や玉依比賣命神社を巡り、講師の清水インストラクターの解説もあり、心も体もリフレッシュでき楽しい一日になりました。



10月24日(木)

防災部会・安全部会 合同による研修会実施



令和6年度の視察研修を10月24日に防災部会と安全部会の合同で実施しました。研修先は、新潟県上越市にあ

る地すべり資料館で、参加者は合わせて22名でした。資料館では、妙高砂防事務所の専門員さんの詳しい説明とDVDの視聴の後、2班に分かれて地すべりや土石流のメカニズムと地震で起きている液状化の実験を体験しました。その後、安茂里地域の事も説明があり、参加者からの質問にも答えていただき有意義な研修となりました。

10月27日(日)

第18回アモーレフェスタ開催



地方発送承ります

第22回全国菓子博技術大賞
第25回全国菓子博外務大臣賞

蕎麦 夢囃子

大自然の恵みを
ふんだんに受けた
「戸隠そば本舗」の香り高いそば粉で
やさしく、味わい深く仕上げます。

旬彩 たびら

●本店 長野市伊勢宮1-18-14 TEL026-228-9235 [営業9:00~18:00/月曜定休] ●ながの東急店 ながの東急百貨店本館地下1階 TEL026-226-8181(代)



好天に恵まれ、第18回アモーレフェスタが開催されました。裾花小学校マーチングバンドの皆さんによるオープニング演奏、今年も素晴らしい演奏でした。その後、屋外では安茂里甚句保存会の皆さんの発表、長野柳心会の皆さんによる空手の演武、安茂里吹奏楽団による迫力ある演奏で大賑わい。長野中央警察署からも車両の展示、ライガ君の出演とご協力いただきました。採れたて野菜、くだもの等のコーナーでは大盛況でした。その後、室内では管内小・中学校の発表があり、生徒の皆さんの迫力ある発表に父兄の皆さんも大満足。皆さんと楽しいひと時でした。皆様ありがとうございました。

10月29日(火)

りんご狩り・小市の海軍壕見学

今年は裾花中学校の生徒18人、先生6人他で共和園芸へ見学に行きました。農家さんから出荷したりんごが各地へ送られるまでの工程を詳しく説明してもらいました。信州の美味しいりんごが全国各地へ送られ、多くの人にいっぱい食べてほしいね。又、小市の海軍壕の見学もさせていただき、80年前安茂里で何が行われようとしていたか、皆、興味深く聞いていました。



11月10日(日)

第48回福祉バザー開催

「あなたの思いやりで福祉の輪を広げよう」をテーマに恒例の安茂里地区福祉バザーを開催しました。企業提供品、シーツ・タオル等の寝具類、食料品、洗剤と今

年も品物を限定してのバザーでしたが、開始前から長い列ができる程の人気。315名の方々からお買い上げ頂き、昨年を大きく上回る売上を計上できました。多くの物品を提供頂いた地区の皆様及び地元企業様に厚く御礼申し上げます。バザーで得られた収益金は地区の福祉活動に使わせて頂きます。ありがとうございました。



11月17日(日)

杏の里文化講演会開催

気候変動 ～増える南方の虫たちと

その対応 “昆虫食” ～

日本鱗翅学会評議員で現在差出中区長の田下昌志さんの講演がありました。世界的な気候変動に伴い、南方にしかいない虫たちが今、あたり前の様に長野にいる。高山帯にも異変が。今年も11月に台風が4つも発生。局地的な大雨、色々影響しています。昔から信州人は昆虫を食しています。だから長寿？温暖化対策に昆虫食を！ちなみに、タンパク質含有量は100gあたりコオロギの方が牛肉よりも多いそうです。食生活が変わる？気候変動による影響についてわかりやすく、楽しく解説していただきました。「ザザ虫の試食」もあり、皆さん大満足。又、第二弾もお聞きしたいと思います。



シリーズ 介護予防活動

詩吟と詩舞で元気に

(深山会) 奥村 栄子

詩舞(深山流深山会)の入会は昭和57年。もう40年超えました。

詩吟の長野岳風会に入会し、吟をしながら詩舞も始めたものです。

当初は吟も舞も10人以上いましたが、年とともに人数が減り今は5人のグループになってしまいました。

今年も長野岳風会の第69回吟道大会に協賛として詩舞深山流深山会に舞で参加しました。

吟では「和歌」で参加し、舞では「一茶の俳句二題」を舞いました。

西河原公民館をお借りして月に2回～4回、午前中に

吟を、午後から舞をと土曜日一日半分はおしゃべりで終わる日も多く、漬物談義やら情報交換などでレポーターを増やし楽しい仲間できがやかに学習しています。

大会など年に数回の出演があり、年で覚えるのも悪くなったり足腰もままならなくなったりで大変ですが、長く続けている趣味でもあり皆がんばっています。

ちなみに私たち80代です。



役員・区長合同研修会に参加して

伊勢宮区長 寺澤 永悟

10月16日(水)から17日(木)の2日間住民自治協議会会長・局長、部長等役員と区長による「役員区長合同研修旅行」があり、初めて参加させていただきました。総勢25名の参加でした。

今年度は、松本方面各箇所の研修で、印象に残った場所は「飛騨大鍾乳洞」と「大王わさび農園」でした。岐阜県高山市丹生川町の「飛騨大鍾乳洞」は、日本全国に約80カ所ある観光鍾乳洞の中でも、日本一の標高900mに位置し、1965年に発見されました。この辺りは2億5千年前には海だったため、海の中のサンゴなどから石炭石ができ長い年月の間に雨水に溶け、少しずつ堆積して鍾乳洞がつくられていきました。

第1洞～第3洞までの雄大な大自然、つららのような金属乳石が多く見られ、テーマ「月の世界」は、迫り着くま

での道のりは、かなり細く引き込まれてしまうようでした。

洞穴は、サンゴで形成されているため大胆な石の裂け目が見事でした。鍾乳洞内は、急な階段や細い場所などあり、未知の世界でワクワク感もありましたが、疲れしました。足腰の弱い方、体力に自身のない方は、第1出口から第3出口があるので自分のペースでリタイヤも可能です。

次に、安曇野市の「大王わさび農場」は「湧水の郷」として知られています。

大勢の方が訪れるこの土地は、もともとは、雑草の生い茂る原野でした。初代園主の深澤勇一氏が荒地を開墾してわさび産地を作ったことに始まります。20年という歳月をかけて完成したそうです。

北アルプスの雪解け水が伏流水となって1日約70万トンの湧き水が至るところで湧き出しており、水温は、真夏でも15度を超えることはないそうです。

場内に入り、早速わさび田を見学すると、目に飛び込んできたのは、何やら一面が真っ暗な布で覆われているわさび田でした。「寒冷紗」というネットでわさび田を一面に覆い、太陽光を遮断し最適な水温15度に保つためのものだそうです。

大王わさび農場では、食べた方が絶賛するお勧めは大人気の「わさびソフトクリーム」で、緑色の名物を皆さんで食べました。わさびの辛味がなく、絶品でした。

研修旅行は、住民自治協議会会長・局長・部長役員・区長の皆様と親睦を深め、意見交換等もでき意義のある研修でした。





プラスこうじ

花

毎日の生活に
糖をプラス










日本のあたたかさ、未来へ。

マルコム

マルコム株式会社
 長野市安茂里883
 TEL 026-226-0255
 FAX 026-227-9288